

俳句の会「芦火」

☆柑蘆同人誌「芦火」第731号（令和七年一月号）表紙

- ・新年の季語：「新（「しん」あるいは「はつ）」で始まる季語  
例えば「初春」、「初空」、「初晴」、「初日」、「初景色」、「初夢」、「初笑」等
- ・来月号（二月号）の兼題



<新「しん」あるいは「はつ」で始まる季語>

有名俳人の句を紹介します。

初春や酒器に冷えたる酒もよし	村田脩
初空をこぼるる雀火の如し	大竹孤悠
初晴にはやきく凧のうねりかな	吉田冬葉
何が走り何が飛ぶとも初日豊か	中村草田男
美しくもろもろ枯れし初景色	富安風生
初夢のただしらじらと覚めてなし	大野林火
初笑深く蔵してほのかなる	高浜虚子

\*\*\*\*\*

## ☆高得点者および高得点句

\*前月の清記表に記載された13名の84句のなかから互選の結果、以下の同人が高得点者となりました。併せて高得点句も掲載します。

<高得点者(敬称略)>

25点 恵吾 17点 碧亥、16点 緑汀、15点 温州、

<高得点句(4点以上)>

- ・初霜や路地に小さき靴の跡／恵吾・・・・・・・・・・7点
- ・石仏の里の杣道木の実降る／恵吾・・・・・・・・・・6点
- ・柿簾くぐる女のさことば／緑汀・・・・・・・・・・6点
- ・栗あったここにもあるよ子らの声／勝・・・・・・・・・・5点
- ・光年に馳せる想ひや冬銀河／碧亥・・・・・・・・・・5点
- ・殉教の天草の野辺石露の花／恵吾・・・・・・・・・・5点
- ・残菊や同窓会は雨となり／甲舟・・・・・・・・・・4点
- ・一望に風の臥し行く枯芒／碧亥・・・・・・・・・・4点
- ・七三に拘る漢木葉髪／温州・・・・・・・・・・4点
- ・独り居の膝を抱く夜やうそ寒し／温州・・・・・・・・・・4点

\*\*\*\*\*

## ☆その他のトピックス

### ①同人誌「芦火」の今後に関する各位の意見

・昭和38年(1963年)の結成以来60年以上の歴史を誇り、一時は二十名近くの同人がおられ、且つ、二年に一回の頻度で吟行が開催される等、活発な活動が行われてきた「芦火」も、高齢化進行とともに同人の減少に歯止めがかからなくなってきています。

そこで、この度同人各位に「芦火」の今後をどうしたら良いか意見を聴取しました。様々なご意見がありましたが、概ね以下のご意見に集約されると思います。

- 1) 近々終刊したらどうかとの意見もあったが、何とか継続したい、継続するべきという意見が大勢。
- 2) 同人を経済学部OB・OGに限定せず、和歌山大学の全学部のOB・OG、教職員、現役学生に広げる。連れ合い、兄弟姉妹、いとこ、はとこ、遠縁にまで広げてはどうかとの意見もあった。
- 3) 年会費を安くする(現状1万2千円)
- 4) 通信句会ではなく月一回あるいは二か月に一回の出席句会とし欠席投句も可とする。年会費は欠席投句する人も出資する。
- 5) 出句数および選句数を減らす。  
出句数(現状7句⇒3句以上5句以内に変更)  
選句数(現状10句⇒7句に変更)
- 6) 現在中断している「切り捨て御免」のコーナーは、形を変えて継続する。  
鑑賞することも俳句の勉強であるので、良い句は取り上げるとともに、「私だったらこうしたい」と思う句に感想を入れる形で継続する。コーナーの名称は別途検討。
- 7) 有季定型を理念としてきた「芦火」であるが、自由律句、破調句、現代俳句にも門戸を開く。

## ②近況報告および通信

### 1) 甲舟さん

川柳誌「番傘」の編集スタッフをされている由。また、「楽しい川柳尼崎句会」を令和6年12月に立ち上げられたと。

### 2) 勝さん

体調は相変わらず低調の由。

草炎さんの「切り捨て御免」のコーナーに対するご意見に大いに賛成されるとのこと。つまり、各同人が1句だけでも切り捨てるあるいは感想を述べる。義務ではなく出来るだけ他人の句を評価する。他人の評価は作者の見方を変える場合があるので大いに有意である。反論してもよい。

### 3) 碧亥さん

体調不良により欠句の続く史浩さんに対して、誌上にてお見舞い、激励の言葉を述べられています。

### 4) 草炎さん

内科、整形外科等医者通いばかりとのこと（2日に1回の頻度）。

お嬢さんと二人暮らしで週一回のデイケア仲間に羨ましがられていると。

お仕事の関係で海外暮らしをされているご子息、東京在住のお孫さんたちが年末にどっ帰って来られる由（楽しみにされている模様）。

「散歩道の自然」を連載頂いていた緑汀さんに対して感謝の言葉を誌上にて述べられています。

### 5) 要さん

雨・晴にかかわらず1日4時間歩き、卓球、ボッチャ、ラジオ体操等と忙しくされているよし。

- ・NHKテレビ短歌に投稿が載ったとのこと

「寝足りたる体にシャワー浴びながら今日の将棋の作戦を練る」

- ・NHKラジ歌壇で入選とのこと。

「クレバスに落ちた兄貴にぱったりと出会った夜の横断歩道」

## ③「様々な同期会」 温州

- ・温州が以下の随想文を掲載しました。

『和歌山大学を卒業して52年（1972年・昭和47年・20期）になりますが、様々な分野の同期会を楽しんでいます。

柑芦20期会、弓道部20期会、塩屋カルテット、いずれも経済学部20期卒のメンバーの親睦会です。柑芦20期会のメンバーの中には大学を卒業してから知り合った、あるいはごく最近近しくなった方々もおられます。

学生時代はお互いにそれ程親しくなかったあるいはまったく知らなかった間柄でも、和大経済学部卒業というだけで親しみを感じ旧知の間柄の如くたちまち打ち解けるのです。不思議ですが、同期というものは、良いものです。

ごく最近では、柑芦20期会を11月に神戸市北区の「神戸ホテルフルーツフラワー」で開催し、11人が集まりました。懇親会の翌日はゴルフです。来年は11月頃に和歌山・橋本で開催予定です。

弓道部20期会は12月初旬に大阪キタの「お初天神商店街」の居酒屋で開催し、6名が参加。来年は神戸三宮界限で開催予定です。

塩屋カルテットは大学時代の友人4人の集まりで、やはり12月初旬に大阪駅併設のグランフロント大阪の日本料理店で開催しました。

それぞれの20期会は20期卒が中心ではありますが、2～3年程度離れた先輩・後輩もメンバーに含めて、今後とも継続していこうということになったおり、現に弓道部では昨年よりそのような集まりになってきています。お互いに後期高齢者になって肉体的に衰えを感じていると思いますが、気力の続く限り同期会は継続していこうと考えています。』



柑芦20期会



弓道部20期会



塩屋カルテット



#### ④随想文「紅葉散策」 穂心さん

穂心さんが伊丹の緑が丘公園の紅葉散策をされた際に、以下の4句を詠まれました。

- ・「こうろ」なる音に佇む初冬かな
- ・門構え開けて紅葉の庭を見む
- ・碧空白雲に映ゆ冬紅葉
- ・庭園の冬至間近な影の濃く

最初の句は日本庭園の粋を集めて建てられた「鴻臚館（こうろかん）」に入館され際、響きが「柑芦会（こうろかい）」と似ていることから親近感が湧いたとのとのことで、詠われたそうです。

\*\*\*\*\*

### <俳句の会「芦火」概要>

- ・会員は柑芦会会員
- ・現在の会員は大学3期卒から25期卒の13名
- ・昭和38年（1963年）結成・・・約60年の歴史
- ・会員の作句は通信俳句誌「柑蘆同人誌・芦火」に掲載され毎月各人に配付
- ・創刊以降毎月発刊。令和4年（2022年）6月に第700号発刊。
- ・50号ごとに句誌を発刊。令和4年5月に「芦火第14号句集」発刊
- ・創刊時からの延べ会員数、72名（高商32名、高商教授1名、大学39名）

### <編集者・コンタクト先および会費>

- ・編集者：穂永 千秋（大学17期）（俳号：穂心）  
メールアドレス：[suishin2010@dream.ocn.ne.jp](mailto:suishin2010@dream.ocn.ne.jp)／携帯：090-9887-2513
- ・その他のコンタクト先：
  - ・山下 勝（大学14期・前編集者）（俳号：勝）  
メールアドレス：[yama723@nifty.com](mailto:yama723@nifty.com)／携帯：090-1349-6727
  - ・平林 義康（大学20期）（俳号：温州）  
メールアドレス：[hirabayashi9497@yahoo.co.jp](mailto:hirabayashi9497@yahoo.co.jp)／携帯：090-8525-7293
- ・会費：年会費1万2千円

以上  
(文責：平林 温州)